

(2025年度入試) 2025年(2月) 法律英語(後期課程)

J.E.B. v. Alabama (1994)*

*以下の文章は、McAlinn, Rosen, Stern, "An Introduction to American Law," Second Edition, pp. 41, 42, Carolina Academic Press (2010)の一部を引用したものである。

次の英文を読んで(1)～(8)を和訳しなさい。(配点100点)

文章は著作権の関係により掲載ができません。

解

答

例

近畿大学大学院法学研究科（博士後期）課程

2025年度入試（2）月期 <2024年度実施>

（一般）入学選考

（外国語A）

科目名（英語）

このテストでは、英語から日本語への翻訳が課題であったため、各文に対して唯一の正解は存在しませんでした。ただし、採点は、全体的な正確性と英語の意味への忠実さを基準に行われました。

出 題 意 図

近畿大学大学院法学研究科（博士後期）課程

2025年度入試（2）月期 <2024年度実施>

（一般）入学選考

（外国語A）

科目名（英語）

この読解問題は、アメリカ法に関する教科書から適切な改変を加えて作成されました。具体的には、アメリカ合衆国最高裁判所が1994年のJ.E.B. v. Alabama事件の判決で、性別を理由にした陪審員選任における無条件排除権の行使が、アメリカ合衆国憲法第14修正の平等保護条項に違反するものと判断した内容に関する部分です。

試験では、受験者に大学院での学習中に遭遇する可能性のある英文の翻訳を求めました。その目的は、平均的な英語教科書を超える高度な語彙や法的概念を、時間制限のある条件下で処理する能力を測定することでした。